



児童の部

いもうと 大好きで賞

だいすきなあさちゃん

わたしのいもうとは、8がつにうまれました。なまえは、あさひちゃんです。あさひちゃんは、ミルクをじぶんでのめなくてしんぱいしました。いまは、ごはんをたべられるようになってよかったです。こんどは、あけるようになったらいっしょにあそぼうね。あさちゃんだいすきだよ。うまれてきてくれてありがとう。



補助説明

妹のことが大好きで、書くとしたら「妹の事を書きたい！」と即答でした。妹は今年で2才になりますが、まだ歩けてなかったり生まれてから心配事があり、その心配している気持ちと可愛くて仕方がない気持ちを書きたかったそうです。

東十郷小学校 一年 盛岡 蒼 さん

審査員より

妹のことが大好きな優しいお姉ちゃん。自分自身もこれまで家族に見守られて、だんだんに大きくなってきたことをちゃんとわかっているのですね。

あいさつで笑顔になるで賞

家ぞくのルール

わたしは、家ぞくでルールをきめています。それは、あいさつ、おてつだいをすることです。朝おきたとき、学校へ行くとき、ねるときに、かならずあいさつをします。わたしがあいさつをすると、家ぞくみんながえがおであいさつをしてくれるのでうれしくなります。家のおてつだいをすると、「みおちゃん がてつだってくれて、とてもたすかったよ。」とえがおで言ってくれるのでとてもうれしいです。そんな家ぞくが大すきです。



東十郷小学校 二年 井上 みお さん

審査員より

子どもなりに家族の笑顔のために自分ができること（あいさつ、お手伝い）を考え実行していますね。「あいさつはみんなを笑顔にする魔法」の標語がありますが、まさしく、家族の心を繋ぐ素敵な魔法の力を感じました。

お手伝いがんばったで賞

おてしだいひょう

ぼくのおうちには、おてしだいひょうがあります。おてしだいをすると、一しー
 ルがはねます。十したまると五百円もらえます。五十したまるとボーナスで五百円が
 もらえます。ぼくは、おじっかいをためて、いつもアイスを買に行くのがたのしみ
 です。あともう一したのしみなことがあります。それは、ママにありがとうといわれ
 ることです。おてしだいをすると、ママがよろこんでくれます。アイスも買って、ま
 まもよろこぶのでぼくはおてしだいがだいすきです。



兵庫小学校 二年

坪田 燎弥 さん

特別なギョウザ、美味しかったで賞

東十郷小学校 二年 木村 あやの さん

ぎょうぎパーティー

ぎょうぎパーティーをしました。エプロンをしてぎょうぎをつくりました。妹が、おせんべいみたいなきょうぎをつくったから、おもしろかったです。かぞくが、「おいしい、おいしい」と言ってくれてうれしかったです。わたしの心はそのとき、ほかほかにあったまっただようにかんじました。お父さんが「このおせんべいみたいなきょうぎ、だれがつくったんだ。おもしろすぎる。」と言ってわらっていました。しあわせのじかんでした。



寝る前の素敵なルール賞

東十郷小学校 二年 五十嵐 葵葉さん

ねる前のきまり

ぼくの家では、ねる前のきまりがあります。ねるまえに、「おやすみ。」と、言いながらタッチをします。いい音がしないと、僕はやり直します。大学生のお姉えちゃんと高校生のおにいちゃんもやっています。おとうさんもおかあさんもします。けんかをしていてもします。ぼくの家のおちよっとかわったきまりだけど、ぼくはすきです。



ピアノを上手にひけたね賞

兵庫小学校 一年 高橋 穂乃佳さん

ピアノを上手にひけたね賞

じょうびは、ピアノきょうしつ。たくさんのおんがくをれんしゅうしています。むずかしいきょくもれんしゅうしてひけるようになるよ、じょうもうれしくなります。わたしのたんじょうびに、かぞくみんなのまえではっぴょうかいをします。じょうきをするけど、みんながにじにきいてくれて、「じょうすー」「はくしゅうしてくれるので、れんしゅうがんばってよかったな、またがんばろうとおもいます。みんなまた、わたしのピアノきいてねー！



ケンカしても賞

東十郷小学校 二年 なが田 すず音さん

兄とけんか

わたしは、いつも兄とけんかします。どんなけんかをするかというと、兄が「いちよばしてほしくない。」というていげます。わたしは「いちよばして、兄をおいかけます。そして、おにじゅうじになります。ですが、にげてるとき、ふたりおもしろいことをいいあって、すぐになかよくなります。こんなふうにも、けんかをしてもすぐになかよくなります。なかなか兄を、こちよこちよできません。いつかは、兄をいちよこちよしたいです。」



水風船大好き賞

みんな大すき水ふうせん

東十郷小学校 二年 岩本 美桜 さん

まいとし夏になると、水ふうせんであそびます。一ばん上の姉は中学生、二ばんめのわたしは小学生、三ばんめのおじつとは、ほいく園じととしがはなれている三人きょうだいだけど、水ふうせんであそぶときは、いつもなかよしです。水ふうせんを上に投げたりおもしろいことをいっぱいやります。ことしはなん回水ふうせんであそべるかなあ。



お話ししょうずで賞

東十郷小学校 二年 川村 直大さん

おじつわんのたんじょうび

7月7日はおとうさんのたんじょうびです。ぼくは本をあげたいと思ったので、じぶんでものがたりをつくってみました。ぜんぶで12ページかきました。わくわくしながら、おとうさんにぶれせんをわたしてみたら、ありがとうとよぶ喜んでくれました。ぼくは、とてもうれしいと思いました。らい年はなにをつくるのかな、どうしようかなーほめてもらいたいなとこころのなかで思っています。



珍しいお客様と賞

東十郷小学校 二年 田端 達生さん

めずらしいお客様と

きのう、ぼくの家に大きなトノサマガエルが入ってきました。ぼくはすぐに妹とお母さんをよびに行きました。とても大きいトノサマガエルだったので、ぼくもおかあさんも妹もこわくて「ウワー!」と叫んでいたらおばあちゃんもこわいからおりてきました。ぼくはモップでかえるをおどかさかざくときょうりよくしてかえるを外へだしました。めずらしいお客さやへさんにびっくりの大じけんでした。でもさいごはみんなで大わらいしました。

審査員より

思いがけないお客様にみんながてんやわんやと大騒ぎする様子が目に浮かびます。これからも夏が来るたびに楽しい思い出として話題にあがり、家族みんなで大笑いすることでしょうね。



たのしいお風呂で賞

弟のお風呂

私は弟とお風呂に入っています。弟をお風呂に入れる時、2才の弟は水にこごふんしてバチャバチャ遊びだすところが大変です。あと水がちよっとでも目に入ると弟は、「また水入った。また水入った」とさわぎだします。

でも、良いところもあります。私が目に水が入り、わっとなった時に弟の顔を拭くためのガーゼで私の目を拭いてくれるのです。そうしてくれる弟とお風呂はいいなと思っています。これからも弟とお風呂に入ろうと思います。



東十郷小学校 四年

齋藤 八千琉 さん

携帯電話の充電は数日でゼロになってしまっていますが、この家族充電なら常に100%。だから、毎晩、安心してたくさん眠れるのですね。

温まるので寛

わが家のじゅう電



わが家では、夜ねるまえに「じゅう電」をしています。「じゅう電」は、お父さんのふとんにあつまり、お母さん、お姉ちゃん、妹、わたしでくっくっく、「じゅう電中、じゅう電中」と言いながらくっくっくします。「じゅう電」をしていると、あったまって、夜よくねむれます。これが、「わが家のじゅう電」です。

木部小学校 三年 黒川 時芭 さん

▶▶▶の題ごさるど賞

お母さんのかわら

わたしは、いつもお母さんのいそがしうところを見るので、一日一回「お母さんにおついでにしたいすることない」と聞きます。今はしょっきをあらうことやごはんをじょうずにつくるのもうへうになりました。

お母さんには、「ありがとう」といってもらえたり、さらには、「お父さんやお兄ちゃんに「おいしい」といってもらえたときは、とってもうれしくなります。これからもがんばってつづけたいです。



東十郷小学校 三年

中西 結彩 さん

手料理はいいね賞

おいしいケーキ

日曜日にたん生日ケーキを作りました。まずはクリームをぬって、果物をどんどん並べて行って、四段の四角いケーキができました。食べてみるとお母さんの愛情がたっぷり入って、あまくて、とてもフルーティで、おいしかったです。これからもお母さんの手作りケーキをもっと食べたいです。

補助説明

毎年、誕生日ケーキは親子で作っています。デコレーションは娘が担当してくねます。

東十郷小学校 四年 山田 はなさん



たのしみで賞

弟のおみおへら

わたしの弟は、いつもわたしが、学校に行くときにおみおへらをしてくねます。わたしが、「いってきます」と言っていると、「げんかんにきて」「バイバイ」と言ってくねます。いまは、2才だけど、だんだんしゃべれるようになってきてとてもかわいいなと思います。

東十郷小学校 四年 高倉 奈々さん



しっかり者で賞

わが家のスマート

わが家ではスマートルールが三つあります。一つ目は、タブレットは1時間までのルールです。わたしは少し目が悪いので、タブレットは1時間までしかできません。二つ目は、夜の9時になったら画面を見ないことです。夜の9時になっても見たら目がもっと悪くなってしまふからです。三つめは、ゲームやテレビは、宿題が終わってからルールです。宿題をしないでずっとテレビやゲームを見てしまふからです。

補助説明

「目が悪い」とは、視力が良くないということです。



東十郷小学校 四年 Y・M さん

えらいで賞

ばあちゃんとの電話



わたしは、夜に必ず電話ではあちゃんに「おやすみ」と言います。いつも電話で今日の出来事やいろいろなことを話して、最後に必ず「おやすみ」と言っていてこのままねむりにつきます。わたしは少しおこっているときや、いやなことがあっても電話ではあちゃんが笑顔で「おやすみ」と言ってくれるといやな事などが全てふっ飛んでいきます。わたしは、いつも「おやすみ」という一言で幸せのままねむれます。

東十郷小学校 四年 高橋 莉希さん

家族で支えたで賞

おばあちゃんの入院

今年の六月二十七日におばあちゃんが入院しました。二度目の心ぞうの手じゅつで、ぼくも家族もとても心配し、手じゅつが成こうするように毎日いってました。手じゅつはぶ事成こうし、二週間ほど入院しました。その間家族でいっただんけつして家のことをしました。ぼくもお母さんのおてつだいをがんばってしました。かぞくのおかげでぶ事のりこえられたので感しゃしました。これから家族を大切にしたいです。



木部小学校 四年 三村 明史さん

お手伝い頑張ったで賞

家族といっしょ



お父さんが、仕事で四日間県外に行きました。初めてのことで、一日目の夜は、寂しくて涙が勝手に出てきました。お父さんに電話をしたら「ママのこと手伝ってあげて」と言っていたので、次の日からせんたく物をたたんだり、ごはんを作ったりお手伝いをするようになりました。洗たく物をたたむのは、量が多くてとても大変でした。でも、お父さんの言葉を思い出してがんばりました。お父さんが帰ってきてたくさんほめてくれてうれしかったです。でもやっぱり家族は一緒がいいです。

大関小学校 四年 高橋 愛唯 さん

審査員より

いつも一緒にいる家族が留守になると、子どもはとてつもなく寂しく感じるものですね。そんなときこそ、大人の励ましの言葉が子どもを成長させるのだということを伝えてくれた日記です。

一生の宝物ができたで賞

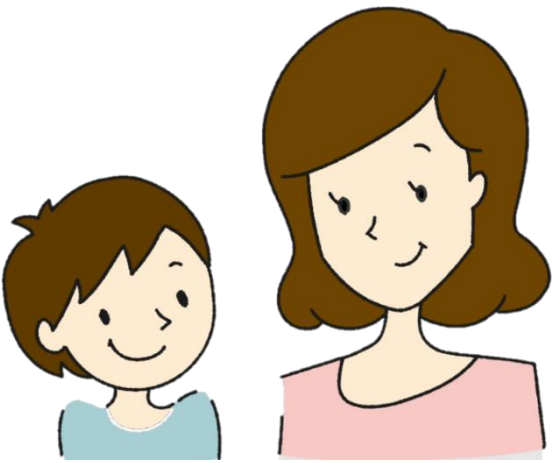
東十郷小学校 四年 小林 洸大 さん

たん生日プレゼント

ぼくは、去年のお母さんのたん生日に茶わんをプレゼントしました。でも、わたして開けてみると茶わんはわれていました。ぼくは泣いてしまいました。お母さんは「お母さんのために選んでくれた気持ちがいいよ」と一しよに泣いてしまいました。その後「われて使えないおかげで、ずっととっておける」とカケラも全部、大事にかざっています。

審査員より

「ぼく」の涙と「お母さん」の涙の意味合いは違いますが、どちらも相手を思いやっつのきれいな涙。この温かいエピソードは、お茶碗のカケラとともに家族の大切な宝物として残っていくことでしょう。



Smile Cooking 賞

Smile Cooking

私は時々おじいちゃんの家に行って料理を作ってあげます。去年の10月におばあちゃんが亡くなって、おじいちゃんは一人暮らしをしています。おじいちゃんに寂しい思いをしてほしくないでので私が料理を作ってあげることです笑顔になってほしいからです。ある時、私は手作りのぎょうざを作りました。変な形の者や具がパンパンの物もあったけどおじいちゃんはすごく美味しいと言って笑顔でたくさん食べてくれました。これからも笑顔になれる料理を作りに行きたいです。



東十郷小学校 六年 谷口 百花 さん

おにぎりで頑張っているで賞

家族の応援に感謝

ぼくは、野球を習っています。試合がある時は、お父さんと弁当を持って行きます。お母さんが作ってくれる弁当には、おにぎりが三つ入っています。

一つは力が出るように、一つはきんちょうしないように、一つはけがをしないようにということなんです。だから、ぼくはがんばる事ができます。そして、家に帰ったら、家族に「応援ありがとう」と伝えるよ、「がんばったね」と言ってくれるので、みんなでほっしりした気持ちになります。



東十郷小学校 五年 中西 佑太 さん

審査員より

「3枚のおふだならぬ」3つのおにぎり。親心が胸に響きました。「ぼく」の健康と活躍への願いが込められたおにぎりのお味は格別でしょう。野球、頑張れますね。

弟、大好きで賞

今までの成長!!

私は、ダウン症の弟の今までのことを思い出しました。そうすると弟と同じ学校に行きたかったなあと思ったことがありました。だけど弟の成長はすごいと思いました。「いや」「だめ」「ありがと。」「や、バイバイなどのしぐさ。私はいろんなことに気が付きました。やっぱり弟はだれよりもがんばってると思うし、弟なりに一歩ずつ成長してると思いました。

そしてそんなことを思うと、感心したり勇気をもらったりして、また、がんばれます。私は今の弟でよかったです。



木部小学校 六年 牧野 愛莉 さん

思い出のおもちゃで賞

東十郷小学校 六年 牧野 史門 さん

1つのおもちゃ

ぼくにはとても大事にしているおもちゃがあります。大事にしている理由は亡くなってしまったおばあちゃんが買ってくれたおもちゃだからです。大きくなったら今でもたまにそのおもちゃで遊びたくなります。そのおもちゃで遊ぶとおばあちゃんのことを思い出します。やさしくしゃべりかけてくれたことや、こわくおこってことをおもいだしてぼくは、すこし悲しかったりして泣いてしまいます。それを見てよくお母さんはうるうるしています。

審査員より

おばあちゃんとのたくさん思い出を覚えていて、幸せですね。おばあちゃんもお母さんも「ぼく」が思い出を大事にする優しい6年生に育っていることを喜んでいきますよ。



悔しうれしかったで賞

兵庫小学校 六年 川岸 成美さん

悔しうれしかったマラソン大会

少し前のマラソン大会の時に、私は手をけがしてしまいました。それでも私は、せっかくのマラソン大会なので出ました。そしてマラソン大会が始まって走っていたら、だんだん手がいたくなってきて、走れなくなってきました。そこで、両親が応援してくれているのを見て、涙が出てきました。結局先生と歩いてゴールしました。いい結果を出せないまま家に帰ったら私の部屋には、手紙とプレゼントが置いてあり、頑張ったことには変わりないよとあり、涙が出ました。

審査員より

悔しい思いをした出来事の後にもろう、家族からの励ましが次の一歩につながります。今回、両親から学んだことはたくさんあったはず。涙を流したことで、きっと忘れられないことでしょう。



タッチ、グー、ギュー賞

夜、ねる前のあいせし

私は、いつも夜ねる前お母さんと「ハイタッチグーギュー」を毎日必ずやります。これをする時には、いつもありがとうございます、と感謝の気持ちを込めながらやっています。だんだん言葉で伝えることがはずかしくなってくるけれど、これは毎日続けられる、私にとって明日もがんばろう、と思える夜のスイッチのようなものです。



東十郷小学校 六年 五十嵐 莉音さん

笑顔になれるで賞

私が笑顔になれるとき



東十郷小学校 五年 伊藤 悠さん

私の笑顔になれるときは、二つあります。一つ目は、家族がここにいてくれるときです。お父さんや妹がにこにこしているとき、なぜかつられてにこっと笑顔になります。二つ目は、私が学校に行くとき家族が見送ってくれるときです。おじいちゃんやお母さんが、「いってらっしゃい」と笑顔で言ってくれると元気になることができます。私が笑顔になれるときはどちらとも家族が笑顔でいるときです。私は家族がとっても大好きです。

お姉ちゃんがんばってるで賞

東十郷小学校 五年 達川 なぎさ さん

お父さん、お母さんありがとう

私には、5才はなれた弟と7才はなれた妹がいます。二人ともまだ小さいので、遊ぶ事やテレビで見る番組もちがうので私がいつもがまんしています。しかたがないけど、心かもやもやします。でも、弟や妹がねている時などのすきま時間にお父さんやお母さんがいっしょに遊んでくれたり、お出かけをいっしょにしてくれたりします。自分のことを思ってくれている、お父さんやお母さんのことが私は、とても大好きです。



抱きついて安心で賞

東十郷小学校 六年 吉村 柑那さん

安心する時間

わが家では一日一回していることがあります。それは、家族に昼夜問わずいっきりだきつくことです。うれしい気持ちになり、悲しい時は気持ちが落ち着きます。面倒になる時もあるけど、だきつくことで気持ちが安心するから、これからも毎日続けていきたいです。



握手は元気な源で賞

不思議なあく手

東十郷小学校 六年 S・Mさん

ぼくが学校へ行く前にお母さんとあく手をして学校に行きます。低学年の時は、タッチだったりと高学年になるとあく手になりました。

行く前にあく手をすると、今日もがんばろうという気持ちになる不思議なものです。わが家にあく手は元気のみなもとだと思えます。

